

# 災害から 命を守り抜く ～ライフラインが止まったら～

五年生  
新聞

5年担任



その時、私ならどうする  
二十一日、総合的な学習の時間に  
ライフラインについての知識を学ぶ  
防災講座を行いました。電気・ガス・  
水道・電話のあわせて4つの事業者  
の方から講話を聴くだけでなく、体  
験的な内容も入れていただきながら  
学習を行いました。



水道について学んでいます。給水車も見ることができました。



実際に災害用伝言ダイヤル（171）にかけてメッセージを残しました。





実物の電線を触らせてもらったり、手回し発電を体験させてもらったりしています。



災害時に停止したガスの復旧の仕方やガスコンロでお米を炊く方法も知ることができました。

### 児童の振り返り

水道の体験を通して「水は、一人一日3L必要で、3日分で9L必要であることがわかりました。6Lの水を持ってみると重たかったので水を持つての避難は大変だと思いました。」

電気の体験を通して「ブレーカーの位置を確認しておくことや、コンセントやプラグを抜いてから避難すること、切れた電線には触らないようにするなど心掛けておきたいです。」

ガスの体験を通して「ガスはわざとにおいを付けていて危険を知らせてくれるとわかったので、普段からにおいがしたら窓を開けるなどしたいです。」

電話の体験を通して「停電の時でも優先して使えることがわかりました。いざという時のために171を覚えておこうと思います。」

